

## 6/18 境野公民館建設委員会開催

昭和53年に建てられ、37年が経過した境野公民館の今後について話し合われている境野公民館建設委員会（中澤博之委員長）が6月18日開催されました。この会議は今年度から開催され、今回が3回目となり、町施設整備課長、技監、担当係長を招いて現在の公民館の間取り、敷地、隣接する消防詰所について意見交換を行いました。今後、年内には意見をまとめることとなっております。



## 6/19 置戸のフキを学校給食に

学校給食センターは6月19日、子どもたちに地元的新鲜な山菜を味わってもらおうと恒例のフキ採りを行いました。この日は、ハンター同行のもと、町職員など14人が春日方面に出かけ、約200キロのフキを採取。トラックで同センターまで運び込むと、おけと大学生などのボランティアが皮をおき塩漬けに。これらのフキは、フキご飯や油炒めなど多くの献立に採り入れられます。



## 6/23 人権の花を育てよう

6月23日、花を育てる体験を通じて、生命の尊さと優しさ、思いやりの心を育むための人権の花運動が行われ、町内の人権擁護委員2人がこどもセンターどんぐりと置戸小学校を訪問し、園児、児童と花植えを行いました。置戸小学校では4年生児童が教わりながら、プランターに1本1本丁寧に苗を植えていきました。今後も花に水やりを行って大事に育てていきます。



## 7/2 園児と生徒が笑顔で交流

7月2日、置戸中学校の3年生20人がこどもセンターどんぐりを訪問し、園児たちと交流しました。これは、中学校の家庭科の授業の「地域社会の探求」と、「幼児のことを知ろう」というカリキュラムとして行われたもので、中学生はこの日のために準備した手品や妖怪ウォッチ体操、リコーダー演奏を披露したり、一緒に体を動かしたりと楽しいひとときを過ごしました。

